

第12回 楽暮プロジェクト・セミナー

障がいのある方とかわる中で、コミュニケーションについて悩まれたことはないでしょうか？通じ合えないことほど、大変なこと、つらいことはありません。楽暮プロジェクトは、コミュニケーション支援に関する情報交換の場として、月例会やセミナー等を開催しています。

今回のセミナーでは、長野大学 杉浦先生をお招きして、先生が工夫して製作された教材・支援機器を基に、コミュニケーションを豊かにするためのヒントについてお話しいただきます。そのほか、パネルディスカッション、支援に関する様々な機器や玩具の展示の他、書籍の販売も予定しています。コミュニケーション支援に関する様々なヒントが得られるセミナーです。ぜひご参加ください。

9:30-	受付、機器展示
10:00-10:10	オープニングトーク
10:10-12:10	講演Ⅰ 杉浦 徹 氏（長野大学 社会福祉学部 助教）

サバイバルスキルとしての支援機器 ～子ども達と世界をつなぐために～

参加とコミュニケーションがキーワードの特別支援教育において、支援機器の持つ意味はさらに大きくなっていきます。どのような取り組みで、豊かなコミュニケーションを生み出せるかいくつかのヒントを考えましょう。

12:10-13:10	昼食、機器展示、書籍販売 パンフィックサブライ、SugitaraDenki（予定）、ま〜ぶる（予定） スペース96（予定）、楽暮プロジェクト
13:10-13:40	質問回答（あらかじめ質問用紙を配布し、昼休み中に提出して頂きます。）
13:45-15:45	パネルディスカッション・情報交換 コミュニケーション支援に関する地域資源 （パネリスト調整中）
15:45-15:55	クロージングトーク
16:00-16:20	フリータイム（情報交換の場としてご利用ください。） 機器展示、書籍販売

【講師紹介】

杉浦 徹 氏（長野大学 社会福祉学部 助教、信州流半田こて道師範（家元））

昭和44年、杉浦電業所三代目として京都に生まれる。

平成8年より17年間、長野県公立学校教員

平成16年SugitaraDenki起業、平成23年信州スイッチラボ設立発起人

平成25年長野大学社会福祉学部助教

（主な著作）

・振動するおもちゃの開発—子ども達にとっての応答的な環境作りを目標として—肢体不自由教育181（2007）

・「知的障害への合理的配慮—暮らし・学びを支えるツール活用のススメ」金森克浩編集代表「特別支援教育とAT」第4集 特集 合理的配慮を支えるための支援技術」. 22-25.（2014）

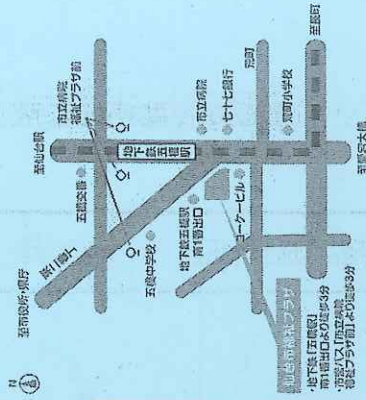
日時	平成27年 9月6日(日) 10:00～16:00（開場9:30）
会場	仙台市福祉プラザ 1階プラザホール http://www.shakyo-sendai.or.jp/fukushi/
参加費	一般 1500円、学生 500円（当日受付でお支払いください。） お名前・所属・連絡先(メールアドレスやFAX番号)等を、メールまたはFAXでお知らせください。
申込方法	申込期限：8月30日(日)（当日参加も可能ですが、名札や資料の作成の都合があるため、できるだけ事前申し込みをお願いします。） メール: rabo_event@yahoo.co.jp FAX: 0228-25-4461
問い合わせ方法	上記メールアドレスがFAX番号まで、問い合わせ内容と連絡先をお知らせください。 折り返し、事務局から連絡させていただきます。
主催	楽暮プロジェクト（宮城にAACとATを広める会） http://www.geocities.jp/rabopi/

会場案内

仙台市福祉プラザ（1階プラザホール）
仙台市青葉区五橋2-12-2
TEL. 022(213)6237
http://www.shakyo-sendai.or.jp/n/aboutus/plaza

アクセス

地下鉄：五橋駅下車(南1番出口より徒歩3分)
市営バス：福祉プラザ前 下車(徒歩3分)
福祉プラザの駐車場は利用できません。
公共交通機関、周辺の民間駐車場をご利用ください。



参加申込書 (FAX 用) 第12回楽暮プロジェクト・セミナー (9月6日)

	氏 名	所属団体名, 連絡先など
1		
2		
3		
4		
5		
6		

※電子メールでも受け付けます。上記情報を記載して下記のアドレスにお送りください。

申し込み・問い合わせ先

FAX : 0228-25-4461

メール : rabo_event@yahoo.co.jp

楽暮プロジェクト・イベント事務局 宛

申込期限

平成27年8月30日(日)までにお願ひします。

※当日参加も可能ですが、資料等の準備の都合がありますので、できるだけ事前にお申込みください。